

達第三十七號

海軍軍樂員條例ヲ定ムルノ左ノ如シ

明治二十二年三月二日

海軍大臣伯爵西郷從道

海軍軍樂員條例

第一條 海軍軍樂員ハ海軍ノ儀式禮典等ニ於ケル奏樂ヲ掌ルモノトス

第二條 軍樂員ハ奏樂ノ爲メ適宜ノ人員ヲ一隊トシ各鎮守府各艦隊ニ配置シ又軍樂及之ニ關スル音律等ノ學術研究ノ爲メ軍樂練習所ニ在宿セシム

第三條 鎮守府及艦隊ニ配置スル軍樂員ノ一隊ハ

五十四 海軍省

概子左ノ如ク編制シ軍樂師一名ヲ以テ其長トス

一等軍樂手

二等軍樂手

三等軍樂手

軍樂生

拾七名

九名

第四條 鎮守府ノ軍樂隊ハ水兵屯營若クハ司令長官ノ旗艦ニ艦隊ノ軍樂隊ハ司令長官司令官ノ旗艦ニ置クヲ例トス

第五條 屯營若クハ旗艦ノ軍樂隊ハ分隊長ヲシテ統率セシム

第六條 軍樂隊ノ長タル軍樂師ハ奏樂ノトキ其指揮ヲ爲スノミナラス常ニ隊員ノ行狀伎倆ヲ詳知

本條は海軍省令
第五十五號
に依り施行す

シ且樂器ノ取扱ヲ監視シ意見ヲ入ルハ所屬分隊長ニ具申スヘシ

第七條 鎮守府及艦隊ノ軍樂隊ハ概テ十八ヶ月毎

ニ軍樂練習所ノ練習生ト全隊同時ニ交代セシム

第八條 鎮守府及艦隊ノ軍樂隊ニ欠員アルトキハ軍樂練習所ヨリ補充ス

第九條 軍樂員ハ奏樂ノ外練習所若クハ艦營ノ業務ニ從事セシム

第十條 樂器ハ妄ニ練習所外若クハ艦營外ニ出スヲ禁ス

達第三十八號

海軍軍樂練習所條例左ノ通定ム



五十五

海軍省

明治二十二年三月二日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍軍樂練習所條例

第一條 軍樂練習所ニ於テ教授ヲ受クル者ヲ左ノ

三種ニ分ツ

第一 通學生即チ軍樂生ヲ志願シ練習所ニ通學

スル者

第二 練習生即チ鎮守府及艦隊ニ交代派遣スヘ

キ者

第三 特科生即チ軍樂ノ學術優等ナルニ依リ特

別ニ樂律ヲ講究セシムル者

第二條 特科生及練習生ハ之ヲ若干部ニ分チ軍樂

師ヲシテ統率セシム

第三條 練習生ハ悉ク練習所内ニ在宿セシメ特科
生ハ願ニ依リ外宿通學ヲ許ス
第四條 練習生ノ學期ハ概テ九月トシ其期終レ
ハ鎮守府若クハ艦隊ニ派遣シ其軍樂隊ト交代セ
シム
第五條 練習生ハ學期ノ終リニ試験ヲ行ヒ及第ノ
者ニハ其證書ヲ授與ス
第六條 練習生ニシテ學術優等品行方正ノ者ハ特
科生トシ尙ホ若干月間樂律ヲ講究セシメ試験ノ
上軍樂教授適任證書ヲ授與シ欠員アルトキハ練
習所ノ教官ニ充ツ但特科生ハ一學期二人ニ超ニ
ルヲ得ス

第七條 軍樂教授適任證書ヲ有シ練習所ニ在リテ
教官タラサル者ハ常ニ特科生トス
第八條 特科生及練習生ハ臨時一隊ヲ編制シ軍樂
教官之ヲ指揮シ海軍ノ儀式禮典ニ奏樂セシムル
コトアル可シ
第九條 鎮守府若クハ艦隊ノ軍樂隊中ニ欠員アリ
未タ交代ノ期ニ至ラスシテ補欠ヲ要スルトキハ
特科生若クハ練習生中ヨリ選抜シテ適宜ノ者ヲ
派遣ス
第十條 軍樂生志願ノ者身體檢查學術試験ニ及第
シタルトキハ二個月間通學生ト爲シ其學術進歩
ノ狀況ニ依リ取捨ヲ加ヘ軍樂發達ノ目途アル者

本多達海軍省
手紙
正

ハ尙ホ四個月間通學生ト爲シ更ニ奏樂ノ能否テ
實驗ス

第十一條 通學生ハ通學ノ日數ニ應シ晝夕二度分
ノ食料トシテ金拾錢其他修業用物品一切官費ヲ
以テ給與ス

第十二條 通學生奏樂ノ實驗終ル後再ヒ取捨ヲ加
ヘ其採用ニ堪ユル者ハ軍樂生ヲ命シ府縣廳ヲ經
テ身元引受人ニ達シ期日ヲ定メテ練習所ニ入ラ
シム

第十三條 通學生ニシテ軍樂生ヲ命セラレ練習所
ニ入りタルトキハ練習生ト爲ス

達第三十九號



五十七

海軍省

金剛比叡航海練習艦タル間其定員表中水兵厨夫ノ
定員ヲ左ノ通定ム

明治二十二年三月二日

海軍大臣伯爵西郷從道

職名	人員	員
一等水兵	三十三	四百
二等水兵	五十五	
三等水兵	六十五	四百
四等水兵	六十五	
水兵(信號)	六	

厨夫	十三
----	----

本官海軍省

達第四十號

横須賀屯警定員表中上等兵曹兵曹ノ定員左ノ通改正ス

明治二十二年三月二日 海軍大臣伯爵西郷從道

官名	職名	人員
上等兵曹	掌砲長	二
	掌帆長	二
	信號教授	一
	砲術教授	二
	運用術教授	二
	信號教授	五
兵曹	掌砲長屬	二
	艇長	二
	掌帆長屬	四
	艇長	四十
		七

五十八

海軍省

達第四十一號

海軍大學校條例中第二十二條ヲ第二十六條ニ改メ左ノ第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條ヲ增加ス

明治二十二年三月二日 海軍大臣伯爵西郷從道

第二十二條 軍醫長ハ校内及主計學校軍樂練習所ノ醫務衛生ヲ掌ル
 第二十三條 軍醫ハ軍醫長ヲ佐ケ醫務衛生ヲ掌リ

軍醫長事故アルトキハ其代理ヲ爲ス

第二十四條 主計長ハ校内及主計學校軍樂練習所
ノ會計給與ヲ掌ル

第二十五條 主計ハ主計長ヲ佐テ會計給與ヲ掌リ
主計長事故アルトキハ其代理ヲ爲ス

達第四十二號

明治十九年七月省令第八十二號海里數表ヲ廢ス

明治二十二年三月二日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第四十三號

明治十九年五月要第三五三號訓令中分任收支命令官
ノ部〔小野濱造船所長〕ノ次ニ〔軍樂練習所長〕ヲ加ヘ會
計主務官ノ部〔大學校勤務主計〕ヲ〔大學校主計長〕ト改

五十九

海軍省

正シ會計主務代理官ノ部〔橫須賀屯營主計長〕ノ次ニ
〔主計學校派出主計官〕及〔軍樂練習所派出主計長〕ヲ加
フ

明治二十二年三月二日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第四十四號

海軍兵學校生徒ニハ手當トシテ在校者ニハ日曜日
毎ニ金拾錢ヲ支給シ航海練習ノ爲メ本校所屬練習
艦ニテ航海セシムル者ニハ乘艦中一日金貳錢ヲ支
給ス

但日曜日ノ手當金ハ自己ノ傷痍疾病其他私事ニ
依リ在校セサル者ニハ支給セス

明治二十二年三月六日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第四十五號

明治十六年^{三月}丙第三十七號達同十九年^{七月}省令第六
十五號及同年^{十月}省令第二百二十五號ヲ廢ス

六十

海軍省

明治二十二年三月六日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第四十六號

東京軍法會議橫須賀、吳、佐世保、三鎮守府軍法會議主
理錄事ノ定員左ノ通定ム

明治二十二年三月六日 海軍大臣伯爵西郷從道

官名	東京軍法會議	橫須賀鎮守府軍法會議	吳鎮守府軍法會議	佐世保鎮守府軍法會議
主理	四	三	三	三
錄事	四	五	四	四

達第四十七號

横須賀鎮守府常備艦武藏及葛城ヲ常備小艦隊ニ編
入セラル
常備小艦隊軍艦筑紫ヲ横須賀鎮守府常備艦ト定メ
ラル

明治二十二年三月九日

海軍大臣伯爵西郷從道

達第四十八號

所管長官所屬長ヲキ武文官吏身分統轄ノ儀左ノ通
定ム

明治二十二年三月九日

海軍大臣伯爵西郷從道

各國公使館附將校

軍事視察ノ爲メ各國派遣將校

右海軍參謀部

各國派遣又ハ留學中ノ武官教官主理錄事

休職停職中ノ准士官以上

非職ノ教官主理錄事

右海軍省第一局

六十二

海軍省

各國派遣又ハ留學中ノ文官教官主理錄事ヲ除ク

非職文官教官主理錄事ヲ除ク

右海軍大臣官房

達第四十九號

鎮守府軍法會議條例及ニ罪犯取扱及ニ行刑ニ關スル手續方法ヲ廢ス

明治二十二年三月十四日

海軍大臣伯爵西郷從道

達第五十號

明治二十年^{月十一}普第六一九三號達軍務局法規課及横須賀鎮守府參謀部勤務主理事務取扱心得ノ件ヲ廢ス

明治二十二年三月十四日

海軍大臣伯爵西郷從道

達第五十一號

主理錄事服務概則左ノ通定ム

明治二十二年三月十四日

海軍大臣伯爵西郷從道

主理錄事服務概則

第一條 各軍法會議ノ上席主理ハ海軍治罪法ニ依リ職務ヲ執行スルノ外其軍法會議ノ庶務ヲ幹理スルノ責任アルモノトス

第二條 各軍法會議ノ上席主理ハ他ノ主理ノ分掌ヲ定メ被告事件ヲ分配ス可シ

第三條 各軍法會議ノ上席主理ハ長官ノ刑罰治罪ニ關スル諮問ニ對スルノ責ニ任ス

第四條 各軍法會議ノ上席主理ハ其次席ノ主理以

下ノ勤惰學術能否操行等ヲ獎勵視察シ毎歲所見
 ナ長官ニ具申ス可シ

第五條 各軍法會議ノ主理ハ海軍治罪法ニ依リ職
 務ヲ執行スルノ外上席主理ノ指揮ヲ受ケ軍法會
 議ノ庶務ニ服事ス可シ

第六條 上席主理事故アルトキハ次席ノ主理其代
 理ヲ爲ス可シ

第七條 各軍法會議ノ錄事ハ海軍治罪法ニ依リ職
 務ヲ執行スルノ外主理ノ指揮ヲ受ケ庶務及ヒ檢
 察ニ服事シ又書類保存ノ責ニ任ス

達第五十二號

六十四 海軍省

明治二十二年二月閣令第四號文具支給規則ニ依リ文
 具料支給規則左ノ通定ム
 但艦營及在外官ハ本則ニ依ルノ限ニアラス

明治二十二年三月十四日 海軍大臣伯爵西郷從道

文具料支給規則

第一條 文具料ハ左ノ區別ニ依リ各事務ノ從事者ニ支給ス

奏任官以上月額 金拾五錢

判任官 全 金貳拾錢

延キトハ順ニ支給ス 全 金貳拾五錢

第二條 文具料ハ每三ヶ月分宛其翌月五日休ル暇トニ

達四八〇ノ三ノ三
 追加
 本事務ノ從事者ニ
 依リ支給ス

第三條 一期中彼是轉勤スルニ前條ノ支給定日ニ所在ノ廳ニ於テ支給ス

第四條 命免ノトキハ月割ヲ以テ支給ス但轉免其他ノ場合ニ於テ文具料ノ支給ヲ停止スルトキハ

第二條ノ支給定日ニ拘ハラヌ其際支給スヘシ

第五條 第一條ニ掲ケル外トモモ官吏ノ事務ヲ補助スル者ニ金ニテ支給スル者ハ其額定額ニ支給スルコトヲ限



達第五十三號

本省定員別表ノ通定△

明治二十二年三月十六日

海軍大臣伯爵西郷從道

六十六

海軍省

海軍省定員表

總計 百六十人 內兼務三人 第二局 第三課 第四課 = 技師 各一人ヲ置ク	會計局		第二局 少將				第一局 少將			局名局長	大臣官房 次官	
	主計總監 專屬員 屬一		專屬員 屬二				專屬員 屬一			課名	秘書官 佐官或ハ二 內兼 主事 大佐 一 副主事 主計監 一	
	第三課	第二課	第一課	第四課	第三課	第二課	第一課	軍法課	第一課	第二課	第三課	附屬 官房 記録課
	主計監 一	主計監 一	主計監 一	主計監 一	佐官 一	技監 一	佐官或ハ技監 一	主理 委任三 兼務	佐官 一	佐官 一	佐官 一	佐官或ハ主計監 一
	大主計 一	大主計 一	大主計 一		大尉或ハ大機師士 一	大技士 一	大尉或ハ大技士 一	主理 委任四 兼務	大尉 一	大尉 一	大尉 一	
	屬 一二	屬 一〇	屬 一〇	屬 技手 二六	屬 船匠師 二二 屬 機師 二二 屬 上等兵曹 二二	屬 技手 三三	屬 技手 三三	屬 技手 三三 屬 上等兵曹 三三 東京軍法會議ノ録事ヲシム	屬 五	屬 二	屬 三	屬 五

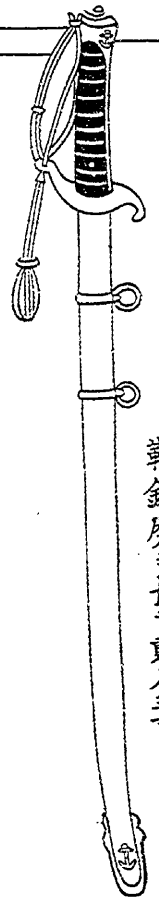
全通ミハハコ
 以テ後止

達第五十四號

自今監護ヲ使役スル廳ニ於テ刀劍ヲ準備シ置キ
 常ノ事變又ハ警戒ヲ嚴ニセサルヲ得サル場合ニ
 監護ニ帶劍セシムルコトヲ得
 但劍ハ日本刀ニシテ其制及劍帶ハ概テ左ノ圖
 ニ依ルヘシ

明治二十二年三月十八日 海軍大臣伯爵西郷從道

六十七
 海軍省

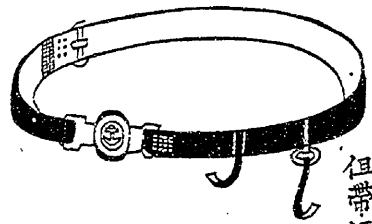


真鍮

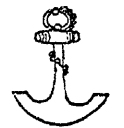
鞘鍔磨キ長サ貳尺三寸

腕貫革茶色

柄黒革真鍮線卷キ
 但柄長サ五寸



革帶黒象皮金具真鍮
 但帶幅一寸四分



柄頭鞘尻系劍帶
 ノ前章ハ圖ノ如キ
 錨ヲ溝彫リトス

達第五十五號

横須賀鎮守府所屬摩耶ヲ同府常備艦ト定メラル
明治二十二年三月十九日 海軍大臣伯爵西郷從道

六十七
海軍省

達第五十六號

左ノ職員ハ海軍參謀將校ト心得ヘシ

明治二十二年三月廿一日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍參謀部長課長課員

鎮守府參謀長參謀

艦隊參謀長參謀

各國公使館附將校

達第五十七號

軍人軍屬演習ニ關スル職務ヲ帶ヒ出張往返滯在及
演習中ハ海軍内國旅費規則第二十五號ニ依リ演習

六十八

海軍省

費ヲ以テ支辨スヘシ

明治二十二年三月二十一日 海軍大臣伯爵西郷從道

明治二十二年三月二十一日
改正

改正

明治二十二年三月二十一日
廢止

廢止

本署達三六八号
テノ後退取

達第五十八號

明治二十年^{月六}省令第十六號乘馬本分ノ件同年^{月七}
第三三二六號ノ二馬飼料馬裝料支給規則ヲ廢ス
明治二十二年三月二十一日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第五十九號

海軍下士以下履歷表別紙ノ通定ム
但別紙ハ之ヲ要スル艦營諸廳ヘ下付ス
明治二十二年三月二十一日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第六十號

下士以下履歷表取扱方左ノ通心得ヘシ

六十九 海軍省

明治二十二年三月二十一日 海軍大臣伯爵西郷從道

- 一 新履歷表ハ表中ニ掲クル凡例ニ依リ取扱フヘ
- 一 附表記入ハ摸範トシテ履歷記入ノ任アル者ニ
貸與ス
- 一 各艦營等ニ於テ直轄者(分隊長等)ノ擔任スル履歷
ハ來ル二十三年三月迄ニ悉皆新定ノ表ニ謄寫
シテ本人ニ附與スヘシ然レトモ其間ノ退轉者
ニハ必ス新定ノ履歷表ヲ携帶セシムヘシ
- 一 鎮守府ニ備ヘ置ク履歷表ハ何分ノ義相達スル
迄從前ノ通タルヘシ

一、履歷ヲ新定ノ表ニ謄寫シタル後ハ従前ノモノ
ハ一纏トシテ鎮守府ニ送附スヘシ

七十
海軍省

海軍省事務細則別冊

第三編 第七三章

海軍省事務細則

改正

達第六十一號

海軍省處務細則別冊ノ通改定ス

明治二十二年三月二十二日 海軍大臣伯爵西郷從道

明治二十二年三月二十二日

七十一
海軍省

海軍省處務細則

第一章 事務分課

第一條 大臣官房ニ於テ掌理スル事務ノ細目ハ左ノ如シ

一、海軍部外ヨリ到達スル文書ヲ接受配付スル事

二、閣議ニ呈出スル文書ヲ審査スル事

三、省令達訓令告示指令ヲ發付スル事

四、軍艦ノ役務變換軍艦軍隊ノ進退ニ關スル事務

五、官制及各廳定員ニ關スル事務

六、文官教官ハ除ク主理ノ進退身分ニ關スル事務思給除給

七十二 海軍省

七、文官教官ハ除ク主理ノ履歷名簿ヲ整頓スル事

八、文官名簿海軍職員錄ヲ編製スル事

九、驛遞飛信送達ノ事

十、戒嚴令徵發令ニ關スル事項取扱ノ事

十一、暗號電信取扱ノ事

十二、海外電信發送接受ノ事

十三、陪食陪宴參賀參拜拜謁等ニ關スル事務

十四、外國駐劄公使ニ係ル往復文書調査ノ事

十五、雇外國人ニ關スル事務

十六、三局ノ主管外ニ係ル事務

第二條 官房附屬記錄課ニ於テ掌理スル事務ノ細

目ハ左ノ如シ

一、公文分類編纂整頓保存ノ事

二、年報編纂ノ事

三、統計整理ノ事

第三條 第一局ニ於テ掌理スル事務ノ細目ハ左ノ

如シ

第一課

一、將校准將校及其候補生ノ任官増俸進級叙位叙勳及職課命免其他身分ニ關スル事務

二、將校准將校及其候補生ノ服務規程並軍紀風紀ニ關スル事

三、將校准將校及各候補生生徒ノ教育演習及候

七十三

海軍省

補生生徒ノ採用ニ關スル事務

四、將校准將校及其候補生ノ學術檢査ニ關スル

事務

五、檢閲ニ關スル事項

六、將校准將校ノ進級分限ニ係ル諸例規ノ事

七、叙勳ニ關スル諸例規ノ事

八、儀式禮典ニ關スル事務

九、服制旗章及徽章ニ關スル事務

十、將校准將校及其候補生ノ履歷名簿ヲ整頓スル事

十一、停年名簿武官名簿編纂ノ事

十二、教官官文任官増俸進級叙位叙勳職課命免其

他身分ニ關スル事務並其履歴名簿ヲ整頓
ル事

十三、海軍豫備員及商船學校規則ニ關スル事務
第二課

一、徴兵志願兵ノ諸制規及之ニ關スル事務

二、准士官下士卒ノ任官進級增俸叙勳及其他身
分ニ關スル事務

三、准士官下士卒ノ服務規程並ニ軍紀風紀ニ關
スル事

四、准士官下士卒ノ教育訓練ニ關スル事務

五、准士官下士卒ノ學術檢査及演習ニ關スル事
務

六、下士卒服役ニ關スル事務
七、艦營定員及艦内兵員部署法ニ關スル事務
八、善行章條例ニ關スル事務
九、艦營備夫ニ關スル事務
十、准士官履歴名簿及下士卒ノ名簿調製ノ事

七十四
海軍省

第三課

一、軍人軍屬ノ俸給諸給旅費其他給與ノ規則ニ
關スル事務

二、下士以下被服給與ノ制規ニ關スル事務

三、軍人軍屬ノ糧食給與ノ制規ニ關スル事務

四、糧食被服ノ準備供給ノ制規ニ關スル事務

五、藥品療用品及患者供給ノ制規ニ關スル事務

送付多ハ十三日迄
刑務

本軍法二五五七
多ク改

六

軍人及教官主理録事ノ俸給諸給糧食費被服費演習費學生費治療費囚徒費扶助金ノ豫算ヲ爲ス事

七

恩給諸制規及恩給ニ關スル事務

八

囚人給與ノ制規ニ關スル事務

軍法課

一

刑法治罪法監獄則ニ關スル事務

二

懲罰令諸罰則ニ關スル事務

三

海軍軍法會議ノ裁判及其事務ノ監査ニ關スル事項

四

軍法會議及普通裁判所ノ處分ヲ受ケタル者ニ關スル事務

七十五

海軍省

五

主理録事ノ任官増俸進級叙位叙勳及職課命免其他身分ニ關スル事務

六

主理録事ノ履歷名簿ヲ整頓スル事

第四條

第二局ニ於テ掌理スル事務ノ細目ハ左ノ如シ

第一課

一

兵器彈藥及屬具ノ數額ヲ定メ製造改造修理配備供給ノ法ヲ整理スル事

二

艦船兵裝ノ大體ヲ定メ計畫方案及入費概算書ヲ調査スル事

三

兵器彈藥及水雷費及之ト性質ヲ同フスル臨時費ノ豫算ヲ爲ス事

四、兵器彈藥ニ關スル規則訓令ヲ立案調査スル
事

五、兵器製造所火藥製造所各鎮守府兵器部工場
及武庫火藥庫ノ構造設置存廢ニ關スル事務
六、兵器簿兵器履歷簿兵器目錄ヲ整頓スル事

第二課

一、新製スヘキ艦船ノ大體計畫及建造所ヲ查定
スル事

二、内國私立造船所ニ注文スル艦船ノ製造條約
ヲ調査スル事

三、外國ニ注文スル艦船ノ製造條約及購買條約
ヲ調製シ之ニ關スル事項ヲ調査スル事



四、船體機關及其屬具ノ製造改造及造船部ノ新
築改築工業用諸器械計畫及其入費概算書ヲ
調査スル事

五、造船及修理費及之ト性質ヲ同フスル臨時費
ノ豫算ヲ爲ス事

六、艦船及造船部ノ工場工業用物品ノ保存廢棄
賣買ニ關スル事項ヲ調査スル事

七、船體機關及屬具ノ製造材料及造船部ノ工業
用材料ノ試験報告ヲ調査スル事

八、艦船籍艦船明細簿艦船目錄艦船表及造船部
ノ明細表ヲ調製シ之ニ關スル事務取扱ノ事

九、船體機關ニ關スル規則ヲ立案調査スル事

十、船體機關ノ性質ニ關スル報告書ヲ調査スル
事

十一、船體機關ノ試験及検査報告ヲ調査スル事
第三課

一、艦營ノ測器船具其他艦船附屬具及石炭其他
艦營需用品ノ品種數額ヲ定ムル事及其配備
供給ノ制規ニ關スル事務

二、艦船ノ機裝ニ關スル方案及其入費概算書ヲ
調査スル事

三、艦營需品費測器費ノ豫算ヲ爲ス事

四、機裝若クハ艦營需用品ニ關スル訓令規則ヲ
立案調査スル事

五、艦營需用品倉庫ノ構造設置存廢ニ關スル事
務

第四課

一、海軍一般ノ營繕ニ關スル設計並其入費概算
書ヲ調査スル事

二、營繕費及之ト性質ヲ同フスル臨時費ノ豫算
ヲ爲ス事

三、官有地目錄並増減報告調製ノ事

四、海軍所屬不動産受授貸付離權及官民所有不
動産借上返付ニ關スル事務

五、土木工事受負並不動産賣買入札契約ノ規則
ニ關スル事務

六、 鑛守府ニ屬セサル不動産直接管理ノ事
七、 鑛守府ニ屬セサル諸廳ノ營繕直接取扱ノ事
第五條 會計局ニ於テ掌理スル事務ノ細目ハ左ノ如シ

第一課

- 一、 海軍一般歳入出豫算ヲ統理スル事
- 二、 歳入出科目ニ關スル事務
- 三、 豫定經費要求書ヲ調製スル事
- 四、 仕拂豫算書調製及之ニ關スル事務
- 五、 收入支出總報告書ヲ調製スル事
- 六、 海軍一般歳入出決算報告書ヲ調製スル事
- 七、 特別會計計算書調製及之ニ關スル事務

七十八

海軍省

- 八、 繰越計算書調製及之ニ關スル事務
- 九、 過年度支出ニ關スル事務
- 十、 定額戻入ニ關スル事務
- 十一、 歳入簿歳出簿ヲ管理スル事
- 十二、 豫備金ニ關スル事務
- 十三、 海軍爲換ニ關スル事務
- 十四、 艦營費ニ關スル事務
- 十五、 豫算實算對照調査ノ事
- 十六、 出納官吏ノ保證金ニ關スル事務
- 十七、 豫算出納決算ニ係ル諸例規ニ關スル事務
- 十八、 簿記証書様式ニ關スル事務

第二課

- 一、 官有財産管理ノ規則ニ關スル事務
- 二、 財産目錄土地、艦船ヲ除ク、財産増減報告ヲ統理スル事務
- 三、 物品會計ノ規則ニ關スル事務
- 四、 物品會計統計簿ヲ管理スル事務
- 五、 物品出納帳簿報告書計算書式ニ關スル事務
- 六、 海軍財産離權不動産ヲ除ク、及物品賣却ニ關スル事務
- 七、 物品賣買入札契約ノ規則ニ關スル事務
- 八、 本省及主務官ヲ置カサル東京各應用度ヲ支辨スル事務
- 九、 本省費ノ應費及本省ヨリ供給スヘキ應ノ應費豫算ヲ爲ス事務



十、 本省内及本省構内取締本省監護用使給仕取者馬丁人夫支配ノ事

第三課

- 一、 本省費及本省ニ於テ支拂フヘキ軍事費其他ノ諸費仕拂ノ事
- 二、 本省ニ於テ支拂フ經費ノ支出報告書ヲ調製スル事
- 三、 本省ニ於テ仕拂フ經費ノ支出簿管理ノ事
- 四、 本省及本省費ノ旅費其他本省ニ於テ仕拂フヘキ經費金ノ内他ノ局課ノ所掌ニ屬セサル豫算ヲ爲ス事

三十三号連三〇五号
号ヲ以改

五、本省ニ於テ支拂フ收入經費ノ出納計算書ヲ
調製スル事
六、本省ニ於テ支拂フ經費ノ仕拂計算書ヲ調製
スル事
七、官報代價及乗馬飼養料徴收ニ關スル事務
八、保證金及寄托金預金ヲ出納スル事
九、諸抵當品ヲ管守スル事
十、航海艦船乗組者留主宅渡金取扱ノ事
第六條 各局課主務ニ屬スル事項中明記セサル事
件アルトキハ其事ニ關係ヲ有スルコト最モ大ナ
ル局課ニ於テ處理シ各局課ニ全ク關係ナキ事件
ハ官房ニ於テ處理スルモノトス

第七條 局長事故アリテ局務ヲ處理スルコト能ハ
サルトキハ特ニ代理ヲ命スルトキノ外先任課長
其事務ヲ代理スヘシ
第八條 課次長ハ平常課長ノ命ヲ受テ其命セラレ
タル課務ノ一部ヲ分擔整理シ課長事故アルトキ
ハ其代理ヲ爲スヘシ
第二章 文書取扱
第九條 大臣親展書類及海軍部外ヨリ海軍大臣海
軍次官又ハ海軍省ニ宛テ到來スル公文ハ大臣官
房ニ於テ受領シ海軍部内ヨリ到來スルモノニシ
テ各局ノ主務ニ屬スルモノハ各局其他ハ大臣官
房ニ於テ受領スルモノトス

第十條 大臣官房ニ於テ受領セル公文ハ主事其屬員ヲシテ受領月日件各番號ヲ件各簿ニ登記セシメ次官ノ意ヲ承ケ又ハ恒例ニ照シテ處分スヘシ大臣親展ノ書類中各局ノ主務ニ屬スルモノハ主事ヨリ直チニ局長ニ送付シ各局ノ主務ニ屬セサルモノハ主事次官ノ命ヲ承ケテ之ヲ處理スヘシ親展ニテ到來セル書面ト雖モ普通事件ナルトキハ前項ニ照シテ取扱フヘシ

第十一條 各局ニ於テ海軍部内ヨリ其主務ニ屬スル公文ヲ受領セルトキハ局長其專屬員ヲシテ受領月日件各番號ヲ受領簿ニ登記セシムヘシ受領簿ハ其受ケタルトキニ記入スルニ止リ其後

八十一
海軍省

ノ送受ハ記入スルヲ要セス唯局限處分濟ト大臣決裁濟トハ朱書ニテ記入シ置クヘシ

第十二條 各局ニ於テ受領セル公文中其主務外ノモノアルトキハ其事件ノ主務ト見認ル局又ハ官房ニ文書送受票ヲ以テ送付スヘシ

甲局ニ於テハ乙局ノ主務ト見認ムルモ乙局ニ於テ之ヲ其主務ト見認サルコトアルトキハ局長又ハ局長ノ委任ヲ受ケタル者ヲシテ面議セシメ議合ハサレハ次官ノ決ヲ受クヘシ

第十三條 各局長ハ公文ヲ査閲シ主務ノ課長ニ之カ處分方ヲ示シテ下付スヘシ

第十四條 課長ハ局長ヨリ下付ノ公文ヲ審査シ大

臣次官ノ閱覽ニ供スルニ止マルモノハ供覽ノ印ヲ捺シ自己ノ認印ヲ紙端ニ捺シ局長ニ出スヘシ其呈議ノ議ニ呈出スルモ發令達訓令以下同シ等ヲ照會回答ヲ要スルモノハ各其案ヲ付シ局長ニ出シ局長認印シテ課長ニ返付シ課長ハ文書送受票ヲ以テ之ヲ主事ニ送付スヘシ

但法律命令ノ改正案ニハ其原文ヲ朱書シテ添付スヘシ

第十五條 各局ニ於テ受領セル公文中大臣ヨリ發令又ハ回答ヲ要スルニ及ハサルモノハ局限リ處分スヘシ

第十六條 呈議發令照會回答案ヲ付シ大臣次官ノ

決議ヲ受クルニハ所定ノ野紙ヲ用ヒ左ノ書式ニ從ヒ認印スヘシ

但關係ノ局課ハ主務ノ局課ノ次ニ書スヘシ
大臣 次官 主務 局長 主務 課長

第十七條 各局ニ於テ受領セル公文中後日ニ至ラサレハ處理シ難キモノハ其旨ヲ付記シ大臣次官ノ檢印ヲ受ケ記録庫ニ保存シ置クヘシ

第十八條 他局ニ關係アル文書ハ主務局ニ於テ立案シ文書送受票ヲ以テ關係局ノ局長專屬員ニ送付スヘシ專屬員ハ之ヲ局長ニ出シ局長認印ノ後課長ヲシテ認印セシムルハ後文書送受票ヲ以テ大臣官房ニ送付スヘシ

第十九條 大臣官房ニ於テ各局ヨリ送付ノ公文ヲ
受領シタルトキハ之ヲ件名簿ニ登録シ主事之ヲ
大臣又ハ次官ニ出シ其檢印ヲ受クヘシ
第二十條 大臣次官ノ決裁ヲ經タル諸文案ハ官房
ニ於テ淨書校合シ主事之ニ檢印シ可成其日ノ中
ニ發付シ原書ニ發付月日ヲ記入シ記録課長ニ回
付スヘシ

但文書ニ付屬ノ簿冊表面圖面等ハ各主務局ニ
於テ淨書スヘシ

第二十一條 主事各局ノ主務ニ屬スルモノヲ發付
シタルトキハ其番號ヲ主務局ニ通知スヘシ
但官報ニテ公布スルモノ又ハ摺物ニテ一綴ニ

達スルモノハ通知ヲ要セス

第二十二條 大臣次官決裁ノ文書ハ記録庫ニ收藏
スルモノトス

第二十三條 各局課ニ於テハ處務參照ノ爲メ記録
庫ニ在ル文書ヲ庫内ニ於テ閱覽シ又ハ局課ニ携
帶シ閱覽スルヲ得ルト雖モ必ス其日ノ中ニ還付
スヘシ

第二十四條 件名簿受領簿文書送受票ニ記入スル
書類ノ番號ハ其差出處ノ番號ヲ用フヘシ

第二十五條 本省ニ於テハ官房ニ一ノ件名簿ヲ備
ヘ各局ニ一ノ受領簿ト發送簿ヲ備フ其他文書發
送接受ノ爲メ簿冊ヲ備フルヲ得ス

受領簿ニハ省外ヨリ到來スル文書ノ件各番號到達月日ヲ記入シ發送簿ニハ局ヨリ起リテ省外ニ出ルモノ、件各番號發送月日ヲ記入ス省外ヨリ入リタルモノニ付帶シ更ニ省外ニ出ルモノハ其出入ヲ受領簿ニ記入シ局ヨリ起リ省外ニ出テタルモノニ付帶シ省内ニ入ルモノハ其出入ヲ發送簿ニ記入スルモノトス

省中文書ノ送受ハ文書送受票ヲ用フ送付者票面ニ番號番號ナキハ件名ヲ記シ印ヲ捺シテ送レハ受領者該票ニ印ヲ捺シテ返付ス送付者ハ該票ヲ領置シ以テ他日ノ搜索ニ便ニスヘシ

第二十六條 省中ニ於テハ文書ヲ以テ往復スルコ

八十四 海軍省

トヲ許ルサス甲局課主務ノ事件ニシテ乙局課ニ關係アリ乙局課ノ意見ヲ問フヲ要シ且書面ニテ扣置クヲ要スルカ如キ事アルトキハ甲局課ニテ問題ヲ草シ乙局課ニ回付スヘシ乙局課ニ於テ異議ナキトキハ之ニ檢印シ答辭ヲ要スルトキハ其紙尾ニ答辭ヲ簡畧ニ記シ乙局課ニハ別ニ寫ヲ止メス甲局課ニ之ヲ保管スヘシ

第二十七條 大臣次官ノ決裁ヲ受クヘキ文書他局課ノ意見ヲ問フ文書其他省中ニテ授受スル文書ノ扣又ハ寫ヲ各局課ニテ保存スルヲ許サス

但執務者ニ於テ手許ニ備置カサルヲ得サル文書ヲ抄録シ置クハ妨ナシ

達第六十二號

勅令第四十號ヲ以テ水路部官制改正セラレタルニ
依リ艦船測器準備供給ノ件左ノ通相定ム

明治二十二年三月二十二日 海軍大臣伯爵西郷從道

測器ノ品種數額ヲ定ムル事

右本省第二局第三課

測器直接購買ノ事

右鎮守府主計部材料課

測器保管供給ノ事

右測器試験所

達第六十三號

明治十六年^{十月}二月^{十二} 普第二七六二號ノ二達食料調衛生部へ報告ニ先^テ軍醫ヲシテ一應調査セシムヘシ又同號達雛形中准士官以下食數何食ヲ左ノ通改正ス
明治二十二年三月二十七日 海軍大臣伯爵西郷從道

准士官以下食數何千何百何十何食

内

晝食

何食

夜食

何食

達第六十四號

第六十六

海軍省

明治十九年^{五月}要第三五三號訓令分任收支命令官中「主計學校長」「軍樂練習所長」及ヒ會計主務代理官中「主計學校派出主計官」「軍樂練習所派出主計官」ヲ删除ス
明治二十二年三月二十七日 海軍大臣伯爵西郷從道

達第六十五號

海軍省官制改定セラレタルニ依リ被服品及代料并ニ艦營需用品及艦裝品ノ件左ノ通相定ム

明治二十二年三月二十七日 海軍大臣伯爵西郷從道

被服品ノ直接購買及代價調査ノ事

右鎮守府主計部衣糧課

艦營需用品及艦裝品直接購買ノ事

右鎮守府主計部材料課

被服現品保管供給ノ事

艦營需用品及艦裝品現品保管供給ノ事

右鎮守府中央倉庫

八十七

海軍省

但現今航海部倉庫ニ於テ保管供給スルモノハ
當分従前ノ通タルヘシ

達第六十六號

雇員採用内規第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

明治二十二年三月廿八日 海軍大臣伯爵西郷從道

第二條ニ掲クル雇員ノ外水路部ニ限り彫刻手ヲ置ク日給ハ三圓ヲ以テ最上限トス

達第六十七號

水路部定員及同部監護用使給仕定員別表ノ通之ヲ定ム

明治二十二年三月廿八日 海軍大臣伯爵西郷從道

水路部定員表

八十八 海軍省

部長 大佐 一		專屬員 一		課 科	科 名	科長 班長 測量士	測量助手 製圖手	卒及雇員最上限
計 算 課	圖 誌 科	測 量 科		科 長 佐 官 一	班 長 少 佐 三	測 量 助 手 上 等 技 工 九	製 圖 手 技 手 一	水 兵 三
課 長 屬 一	科 長 少 佐 一	科 長 少 佐 一	製 圖 手 技 手 八	屬 員 等	技 手 九	技 手 一	技 手 一	筆 生 五
一 屬	科 僚 大 尉 二	科 僚 大 尉 二	製 圖 手 技 手 七				翻 譯 生 一	彫 刻 手 一
三			器 械 手 一					

總計 九十二人

水路部監護用使給仕定員表

職 名	最 上 限 定 員	名 監	五	種 用	六	使 給	五	仕
-----	-----------	-----	---	-----	---	-----	---	---

達第六十八號

本年三月達第五十二號文具料支給規則第一條左ノ區別ニ依リ「ノ下」各廳事務ニ従事スル者ニ「ノ十一」字ヲ加ヘ「技生」ノ次ニ「翻譯生」ヲ加ヘ第五條ヲ加フルコト左ノ如シ

明治二十二年三月廿九日 海軍大臣伯爵西郷從道

第五條 第一條ニ掲クル外ト雖モ官吏ノ事務ヲ補助スル者ニハ金貳拾錢以内各廳適宜ニ支給スルコトヲ得

達第六十九號
海軍大學校海軍主計學校軍樂練習所定員別表ノ通
定△

明治二十二年三月二十日

海軍大臣伯爵西郷從道

九十

海軍省

大正十二年三月二十日
 海軍大臣伯爵西郷從道
 達第七十號
 改正



達第七十號

海軍大學校監護用使給仕定員左表ノ通定ム

明治二十二年三月二十日 海軍大臣伯爵西郷從道

海軍大學校監護用使給仕定員表

職名	監護	用使	給仕
最上限定員	二六	一七	六

考證 海軍主計學校軍樂練習所ニハ海軍大學校ヨリ派出スルモノトス

達第七十一號

軍法會議裁判宣告書ノ寫ハ每一ヶ月分取纏メ翌月

九十一
 海軍省

十日迄ニ届出可シ

明治二十二年三月二十日 海軍大臣伯爵西郷從道